

# まつお新聞

発行所 飯田市松尾公民館  
編集人 松尾公民館広報委員会  
印刷：龍共印刷株式会社

## 夏だ！ 人形劇が帰って来た！



7月14日、松尾公民館ホールで飯田市公民館の主催が準備運営を行い、飯田人形劇プレフェスタが開催された。

親子連れの参加者約70人が集まり、吉田貴志さんがたった一人ですべてを行うヨシダ人形劇「ハムによ」と「カッパのぬげがら」を上演した。

「ハムによ」はちよつと変わった食いしん坊が、次から次へと出てくるグルメ料理をどんどん食べる。セリフは無く「ハムハムハム」や「ムニヨムヨ」などの擬音語や動きだけで楽しめる劇。

「カッパのぬげがら」は、なかがわちひろの原作に基いて作られた人形劇。カッパと泳ぎが苦手な少年が出会い、カッパのぬげがらを着ると川の中を自由に泳ぎ回れるという物語。

コロナの影響で4年ぶりの通常開催となった飯田人形劇フェスタ。元気な笑い声が聞こえる夏が帰ってきた。



風船何本入るかな？

### 好奇心を刺激する出張イベント

7月26日、まつほつくりと児童センターで、およそ160人の児童が、液体窒素を使ったサイエンスショーを見たあと実際に体験をした。膨らませた風船を液体窒素の中に入れると小さく縮み、液から取り出すと元の大きさに戻る様子や、ダリアの花を液につけて取り出すとガラス細工のようにパリパリと音を立てて割れる様子を、児童らは



風船口ケットで的当てだ

驚いた様子で見守った。松澤秀明センター長は「夏休み余っている。このような体験ができることは本当にありがたい」と話していた。

7月9日上溝区は地区民参加で、29日清水区、30日代田区では子供会を中心に、空気砲の体験をし、風船口ケットを作った。飛ばした良を重ねていた。「楽しかった」「もっといろいろ考えて作ってみたい」と参加児童は目を輝かせた。

### 松尾の祭りが帰って来た

9月9日鳩ヶ嶺八幡宮、23日は毛賀諏訪神社の秋季例大祭が開催された。

昨年までの3年間は、新型コロナウイルス感染症対策のために、神輿のきおいなどができない年もあった。今年通常開催ということ、ほとんどの地区では、コロナ前と変わらない方法

で例大祭を迎えたが、会食は大皿やオードブルはやめて、ワンプレートで個々に配布したり外注の折を頼んだり、今まで出していた朝食や昼食を、各々で済ませてもらった地区もあった。

9日夕方6時半を過ぎた頃、スポットライトを浴びた神輿が、威勢のいい掛け声と共に八幡様を目指して動き出した。鳥居をくぐった神輿は、担ぎ手が最後の力を振り絞るように大きく



揺さぶられた。コロナ前の賑やかさが戻った。

年番区の寺所区の鋤柄全年番長は「4年ぶりで、みんなとても喜んでた。区の団結が見られる行事は大切にしていきたい」と話していた。

## ようこそ松尾へ

清水区 おくみやこうた 奥宮浩太さん けいこ 恵子さん



清水区に住居を構えた奥宮さんご家族にインタビューしました。

- Q** おふたりのご出身はどちらですか？  
**A** 浩太さん鼎です。恵子さん伊賀良です。清水区の前には城区のアパートに7年ほど住んでいました。
- Q** 松尾（清水区）に住むことを選択されたのはなぜですか？  
**A** 親子共に乳幼児学級で知り合ったお友だちとの繋がりを大切にしたいと、松尾で土地を探していたところ紹介された清水区に決めました。
- Q** 住んでみて松尾（清水区）の印象はいかがですか？  
**A** 平成30年から住み始めました。
- Q** 今後の松尾地区に期待するところがありませんか？  
**A** 松尾は犯罪が多いイメージがあります。子を持つ親としては特に防犯面で安心できる環境を整えてほしいです。あと近くに安心できる子供の遊び場がないのが困ります。清水公園は住宅地から遠く、また周りに住宅も無いことから人目が無いので子供たちだけで遊ばせて夕方とか大丈夫かな？って考えてしまう。遊具設置に期待しています。
- Q** ありがとうございます。  
**A** ありがとうございます。

松尾の人口	
男子	6,125 人
女子	6,633 人
計	12,758 人
世帯数	5,330 世帯
8月末現在	

今年の夏は暑い日が多く毎日のようにテレビやラジオから「猛暑日」という言葉が聞こえてきた▼この「猛暑日」という言葉は最高気温が35度以上の日を表す用語だが、昔から使われている用語ではなく、最高気温が35度を超える日が増えてきたため、2007年、気象庁の予報用語改正の時に「猛暑日」という用語が制定されている▼確かに40年ほど前、私がまだ子供だった頃のことを思い返すと、気温が35度を超えるような日はなかったように思う。では、いったいいつ頃からこんな猛烈な暑さになってしまったのか、気になって飯田の過去の気象データを調べてみた▼1956〜1989年の34年間で猛暑日が24日だったのに対し、1990年頃から暑い日が増え始め、1990〜2023年の34年間で猛暑日が194日にもなっている▼飯田の過去の最高気温は2018年8月6日に記録した37.7度で、まだ40度を超えたことが無いが、隣の浜松市では2020年に41.1度を記録している。年々気温が上昇していることを考えると、飯田で40度を超える日もそう遠くはないかもしれない。

### 松風

今年の夏は暑い日が多く毎日のようにテレビやラジオから「猛暑日」という言葉が聞こえてきた▼この「猛暑日」という言葉は最高気温が35度以上の日を表す用語だが、昔から使われている用語ではなく、最高気温が35度を超える日が増えてきたため、2007年、気象庁の予報用語改正の時に「猛暑日」という用語が制定されている▼確かに40年ほど前、私がまだ子供だった頃のことを思い返すと、気温が35度を超えるような日はなかったように思う。では、いったいいつ頃からこんな猛烈な暑さになってしまったのか、気になって飯田の過去の気象データを調べてみた▼1956〜1989年の34年間で猛暑日が24日だったのに対し、1990年頃から暑い日が増え始め、1990〜2023年の34年間で猛暑日が194日にもなっている▼飯田の過去の最高気温は2018年8月6日に記録した37.7度で、まだ40度を超えたことが無いが、隣の浜松市では2020年に41.1度を記録している。年々気温が上昇していることを考えると、飯田で40度を超える日もそう遠くはないかもしれない。

### 残暑の中で

8月27日、竜水開発組合による、秋季用排水路川ざらいが行われた。毎年春秋と行われており、今年2回目の作業となった。

寺所区からは周辺の地元企業も合わせ34人が参加した。当日は日差しが強く各自暑さ対策を行い、長野県建設技術センター前の水路を中心に作業を行った。春にも川ざらいを行い、きれいにしたはずの水路ではあるが、雑草が生い茂り背丈が2層ほどあるものもあった。水路の中に入り作業する人、道路上で作業をする人の連携によ



スッキリした！

り、2トンプ車の荷台がいつぱいになるほどの草や泥を回収した。参加者の多くが「過去の川ざらいでここまで雑草が多かったことはない」と口を揃えた。日差しが強い中の作業であったが協力し合い、短時間で無事に作業を終えることができた。

### みんなが待っていた夏祭り！

8月6日に明区納涼夏祭りが明公園で行われ、400人余りが来場した。この3年間はコロナの影響で開催することが出来ず、今年が4年ぶりの開催となった。

午後4時30分の開始とともに多くの人が来場し、両壁屋台の焼きそばやフランクフルトなどでお腹を満たし、子供たちは輪投げやヨーヨー釣り、ストラックアウトなどのゲームを楽しんだ。

また、両壁太鼓と伊那谷芸人さっちゃんによるショータイムが行われた。両壁太鼓の迫力ある演奏を間近で堪能。伊那谷芸人さっちゃんによる大道芸は、火のついたバトンのジャグリングや筒を使ったバランス芸など、ハラ



わあー！ すごーい！

ハラドキドキの芸を子供たちが固唾を呑んで見守り、成功すると拍手と歓声を送られた。

夜になり雨が降り始めたが、一時的な雨であったため予定通り全員参加の大抽選会まで行い終了した。

実行委員長の松村広善分館長は「4年ぶりの開催で色々問題もあったが、多くの方に参加していただき、無事最後までできてよかった」と話した。

### 大勢の子供たちであふれる

7月8日、清水区において津島様・祇園祭が行われた。金山様にて代表者らによる神事の後、清水コミュニティ消防センターで直会、催し物が始まった。

水槽の中の冷えた飲み物、焼きたてのフランクフルトやトウモロコシ、子供を対象とした各種ゲームや抽選会に2000人余りの区民が集まった。

中でも小学生以下を対象にしたお菓子のつかみ取りは、大人気で十分に用意したお菓子が足りなくなるハプニングが発生し、役員をハラハラさせた。

また、地元企業からの協賛商品も



何点取れるかな

あり、区長自らじゃんけん大会をする一幕も見られた。

恩田嘉博区長は「清水区には、こんなにも沢山の子どもたちがいるのか！元気をもらったよ」と、興奮冷めやらぬ声で驚きと喜びを語った。

場内は、終始子供たちの元気な声にあふれていた。

### これからの行事予定

- ・10月前半 明区御神田稲刈り
  - ・10月22日 松尾地区市民運動会 (一日開催)
  - ・10月28日 松尾地区還暦の会
  - ・11月4日 サイエンススクール
  - ・11月12日 古き松尾を巡る ぼちぼちさんぽ
  - ・松尾一周の歌より
- 【文化委員会企画】

### 新井区 アツい納涼祭



何色にしようかなあ

台風7号の影響が心配される中、新井区納涼祭が8月15日に行われた。4年ぶりの開催というところもあり、浴衣姿の女性など多くの区民が集まり楽しんでいった。

地区によっては中止のところもあったようだが、分館役員の工夫で部会場を室内に移し、開催された。恒例のボールすくい、焼きそばやモツ煮などの屋台の他にカラオケ大会や大豆移しなど新しい企画も取り入れた。カラオケでは

自慢の歌声を披露。大豆移しでは上手くつかめず苦戦する子供などの声が響き渡った。

当日は生ビールの販売もあり、長い間酒宴がなかつたためか、久しぶりに会う地域の人々とビールを楽しみながら盛り上がっていた。

丸山基治区長は「とにかく雨が上がり、人も集まってくれて良かった。この勢いで八幡様のお祭りも盛大にできれば」と語った。

### 水城区 納涼祭

8月12日に水城コミュニティ消防センターで納涼大会が開催された。4年ぶりの開催となり分

シ、焼き鳥などを屋台で買い求めたり、子供たちは射的、水ヨーヨー釣りなどを楽しんだ。

開会式後、宝投げやビンゴ大会、宝くじ抽選会が行われ、子供から高齢



レイ！

## のスケッチ

大会に長野県代表上田西高校の捕手として、緑ヶ丘中学校出身で2年生の岩下俊

らあり、小学2年生の時に松尾少年野球教室に入り野球を始め、6年生の時には児童会長も務めた。緑ヶ丘中学校野球部でもキャプテンとしてプレーし、上田

し、WBCで日本を世界一に導いた栗山英樹監督の投げた始球式の球を岩下さん

え2-2の同点で延長タイブレークとなり、残念ながら8-3で敗れたが、見事

子園にチームメイトや関係者の皆さんと行くことができ嬉しかった。結果は初長感やワクワク感を味わいながらプレーすることができてとても幸せだった。新感謝しながら練習に励み、もう一度あの舞台に行きたい」と話した。



つけてね

### 毛賀区 楽しみだった夏祭り毛賀

4年ぶり！みんなの笑顔！

7月30日、分館主催による納涼祭が常盤台集会所で行われた。

コロナ禍により中止や縮小実施となっていたが、4年ぶりの本格開催となった。

最初は小学生によるスイカ割り大会。子供たちが目隠しをして周りからの「右！左！」のヒントを頼りに木の棒を振り下ろす。割れても割れなくても満面

の笑みを見せていた。

常盤太鼓は力強く迫力のある演奏を披露。アンコールにも応えた和太鼓の響きが観客を魅了した。

サイエンスコーナーは風船を使つての実験。串を刺しても割れない風船に子供たちも興味津々で目を輝かせながら参加していた。

囲碁ボール大会は9チームが熱の入った激戦で、時間を忘れるほどの盛り上がりを見せた。

最後は豪華景品が当たる



えいっ！

作りが行われ、4年ぶりの夏祭り本番を迎える準備が整った。

ところが台風7号が15日に長野県に最接近する様子となり、急遽13日夕方役員会を開き、協議の結果、運営及び観客の安

が...

上溝区

復活！上溝納涼祭



すごい、すごい！

8月15日、上溝集会所で4年ぶりに上溝納涼祭が開催された。台風の襲来が予想される中、準備中は雨模様であったが、香山宏和上溝区長の開会あいさつの時には雨も上がり、約150人の来場者で賑わいをみせた。

7月29日、久井区文化部は納涼大会を久井公園にて開催した。コロナ感染の規制は緩和されたが、万が一の場合を考えて入場者の氏名、人数を把握して行った。



久井区 納涼大会 充実！

がんばって当ててや

今回は「区民が気楽にお喋りをして交流できる場を提供する」をコンセプトに、昼間の明るい時間、午後3時から6時までとした。イスと机をたくさん用意し、恒例の焼きそば、フランクフルト、五平餅等を販売した。

7月29日、久井区文化部は納涼大会を久井公園にて開催した。コロナ感染の規制は緩和されたが、万が一の場合を考えて入場者の氏名、人数を把握して行った。

餅等を販売した。女性部は初めての試みでパンケーキを販売した。形も揃い厚さもあって中々の評判であった。また、子供たちは射的やお絵かきコーナーなどで楽しんだ。「酷暑の中ではあったが、しばらくぶりにお会いした方でもうれしかったです」と参加者は語っていた。



館役員、文化部員や各団体を進行当日を迎えた。開催前から気温がまだ高く暑い中、子供から高齢者まで100人以上の人が集まり焼きそば、トウモロコシ...

者まで多くの区民で賑わった。フィナーレは花火が打ち上げられて夜空を彩り、ナイアガラの滝は会場を明るく照らした。



花火キ

城區

夏の思い出



区長とじゃんけん

7月23日に「城區さまーふえすていばる2023」が開催され、子供から大人まで多くの参加があった。今年も昨年同様に感染防止対策を行いながら、午前・午後の2部制で区長とじゃんけん大会が...

7月23日に「城區さまーふえすていばる2023」が開催され、子供から大人まで多くの参加があった。今年も昨年同様に感染防止対策を行いながら、午前・午後の2部制で区長とじゃんけん大会が...

長とじゃんけんのあと、縁日のように福引・射的水ヨーヨーなど6種類のゲームを行い、景品としてお菓子や日用品などが用意された。当日は非常に暑く、かき水がとても好評で夏を感じる一日となった。

八幡町区

好プレー続出の大会に

7月23日、八幡山マレットゴルフ場でマレット大会が行われた。長く続いたコロナ禍の影響か、事前申込者が例年より少なく大会の盛り上がり心が心配されたが、当日多数の飛び入り参加者があり例年通りの賑わいとなった。

7月23日、八幡山マレットゴルフ場でマレット大会が行われた。長く続いたコロナ禍の影響か、事前申込者が例年より少なく大会の盛り上がり心が心配されたが、当日多数の飛び入り参加者があり例年通りの賑わいとなった。



名物10番ホール！

優勝は、村松甲子夫さん。3連覇がかかった伊藤秀夫さんを抑え、悲願の優勝となった。

優勝は、村松甲子夫さん。3連覇がかかった伊藤秀夫さんを抑え、悲願の優勝となった。



大人気のかき氷には行列

代田区 復活！ 代田の夏祭り

7月30日、猛暑の中、夏の恒例行事の夏祭りが開催された。開始前から多くの区民が集まり、久しぶりの夏祭りを楽しんだ。

7月30日、猛暑の中、夏の恒例行事の夏祭りが開催された。開始前から多くの区民が集まり、久しぶりの夏祭りを楽しんだ。

8月15日の開催に向けて、6日に区三役、中年会、壮年会役員の協力の下、舞台準備は整った。

後日行われた舞台片付けもあいにくの雨模様となったが、無事終了した。慰労会で飯ヶ濱安司分館長は「区民から、帰省を考慮し、早めの中止を決定した。」



準備は整った

松尾図書館

(公民館2階)

開館日 水曜 午後1～5時 土曜 午前10～午後5時 日曜 午後1～5時

本のリクエストも受けつけています。



私たちの松尾 ホームページ

りを先頭で行った田中登体育部長は「天候にも恵まれ、多くの方の親睦を深める事ができてよかった」と笑顔で話した。

# 夢と魔法の世界へ 4年ぶり通常開催

## いいだ人形劇フェスタ 2023



「みんなの笑顔まっとうるに」をテーマに、8月3日から6日まで、4年ぶり通常開催で186劇団・劇人を迎えて、飯田市と近隣町村140会場で開催された。松尾地区では6会場で演じられ、「待ってました」とばかりに大勢の観覧者が訪れた。

### 色んな影遊びで 楽しい時間

8月4日に松尾公民館で約170人が「影絵劇団かしの樹春日部事務所」の影絵劇を観劇した。

前半は観客参加型の「シルエットファンタジー」で影絵タイズや、スクリーンに光を当て前後左右の物の動きをつかった影絵遊びをした。「やってみたい人？」の呼びかけで、松尾小学校3年の田中美桜さんと、父親の田中篤志さんが舞台裏に行き影絵遊びを体験した。「両手の指を鉄砲の形にして、人差し指同士を付ける」とやかに見えるよ」などと説明しながら演技をしていった。

### やらまいか松尾推進大会

7月9日、松尾公民館でやらまいか委員会主催のやらまいか松尾推進大会が行われた。

夢倶楽部しらかば信州カウンスリングセンター所長の臨床心理士有賀和枝さんを講師に迎え「ともに生きる」そこに在るもの」と題し、全国的に話題になっている、80代の親が50代の引きこもりの子供の世話をする「8050問題」などについて話した。有賀さんは中学校教員を退職した後、駒ヶ根市教育

委員会と相談員やカウンセラーとして勤務し、その頃の経験が今の糧となっている。今も、不登校の子供や引きこもりの若者、その家族をサポートしている。「引きこもりの対象者への自宅訪問では、何度足を運んでも会ってもらえずめげそうになったが、積み重ねていくことで少しずつ心を開いていく喜びを感じた。人と出会うことが、自分と出会うこと」と話した。また、週1回行っているグループワーク「学び舎」へ話していた。



### 新井区

か？」の質問に、舞台裏見学が行われ子供たちは興味深げに小道具を見たり手に取ったりしていた。

8月5日、「人形劇団ぶらんこ」による公演が新井コミュニティ消防センターで行われた。「11びきのねこ」（馬場のぼる作）をモチーフに人形劇にした「のらねこのぼうけん」は、のらねこたちが力を合わせて大きな魚と闘

### 上溝区

8月5日、上溝集会所で「劇団 はてな」のうそまことさんが「まるつとさんしちゃんちやちゃん」と「スーパードルマン！ナナコロビヤオキー」の2作品を上演し、85人が楽しんだ。豊かな表情と軽快な音楽で観客の心をわしづかみにし、名調子で進行した。上演後にはバックステー



ジツアーをし、人形の仕組みなどの解説を皆興味深そうに聞き入っていた。

### 清水区

8月6日、今回は倉敷市立短大より「子どもの劇場」4人が清水コミュニティ消防センター来館。演目は、全員参加の手遊び歌に始まり、パネルシアター「猫のお医者さん」、人形劇「三びきのやぎのらがらどん」、演劇「ウサギの兄弟」と変化に富んだもので93人の観客を魅了した。



大きな魚をやっつけるー

講演終了後、ほおグズがもらえる抽選会では、劇の衣装で演者がくじを引く、はずれなしの企画に子供たちも大喜びだった。



笑顔キラキラ

### 毛賀区

8月5日、北海道札幌市から1台のワゴン車にいっぱい荷物を乗せた「ダンボールシアター」を迎え、毛賀公演が区民会館で行われた。



「グローバーちょっと静かにしてくれない」

かわいく「おもしろかった」と喜んでいった。

### 分館役員研修会

7月3日、12地区の分館役員と、本館委員会正副委員長を対象に研修会が松尾公民館で行われた。

初めに公民館と各委員会の事業計画が説明された後、新型コロナウイルス移行による行動制限緩和を受け、中止や縮小を余儀なくされていた行事をどの程度の規模で再開するか、その運営方法を中心に、各地区が順に活動内容を発表した。コ

ロナ禍で苦心したこと、制限緩和後も生かしている工夫、対策などに関心が集まった。

後半は参加者を5グループに分け、菓子をつまみながら意見交換。悩み、問題点、提案などが活発に話し合われた。最後にグループの代表者が意見交換内容を発表した。コロナにより途絶えた引継ぎ、世代間の交流、行事日程の調整、高校



意見交換会の成果を発表

生や女性の参加等、問題対処の実行例を、参加者は熱心に聞いていた。

### 令和5年度松尾地区 自主防災地震総合防災訓練

災害に備え、身を守る訓練を！

9月3日、令和元年以来、コロナ禍で中止となっていた松尾地区自主防災地震総合防災訓練が4年ぶりに松尾公民館および各区のコミュニティセンターで実施された。

松尾公民館では、地区防災対策本部設置訓練が行われた。午前8時、地震発生（震度5強）後、自身と家族の安全を確認したうえで、自主防災会のメンバーが参集し、防災対策本部を設置した。

本部設置後、各区の対策室設置状況を確認した。無



線が繋がらず、確認が遅れる地区もあったが、予定時間内に各区の対策室が設置された。

今回は、災害時に避難所となる松尾小学校体育館および防災倉庫の配備品等の確認を行った。

鋤柄富男会長は、「久しぶりに防災訓練ができてよかった。無線の不具合についても、不測の事態にどう対応するかという訓練になった。防災は、一人ひとりが自覚して取り組む必要がある。そして、ご自身・ご家族を守ってほしい」と語った。

### ふれあいひろば

※親子映画観賞会

7月8日、4年ぶりの開催となり89人の親子が松尾公民館ホールで映画「かいけつゾロリ ラララスタータんじょう」を楽しんだ。

※松尾マレット祭り

7月23日、松尾マレットゴルフ場で松尾マレット祭りが行われた。

※第1回 手打ちそばをつくろう

7月23日、連続講座として初開催され、16人の参加者が、そば打ちに挑戦した。